

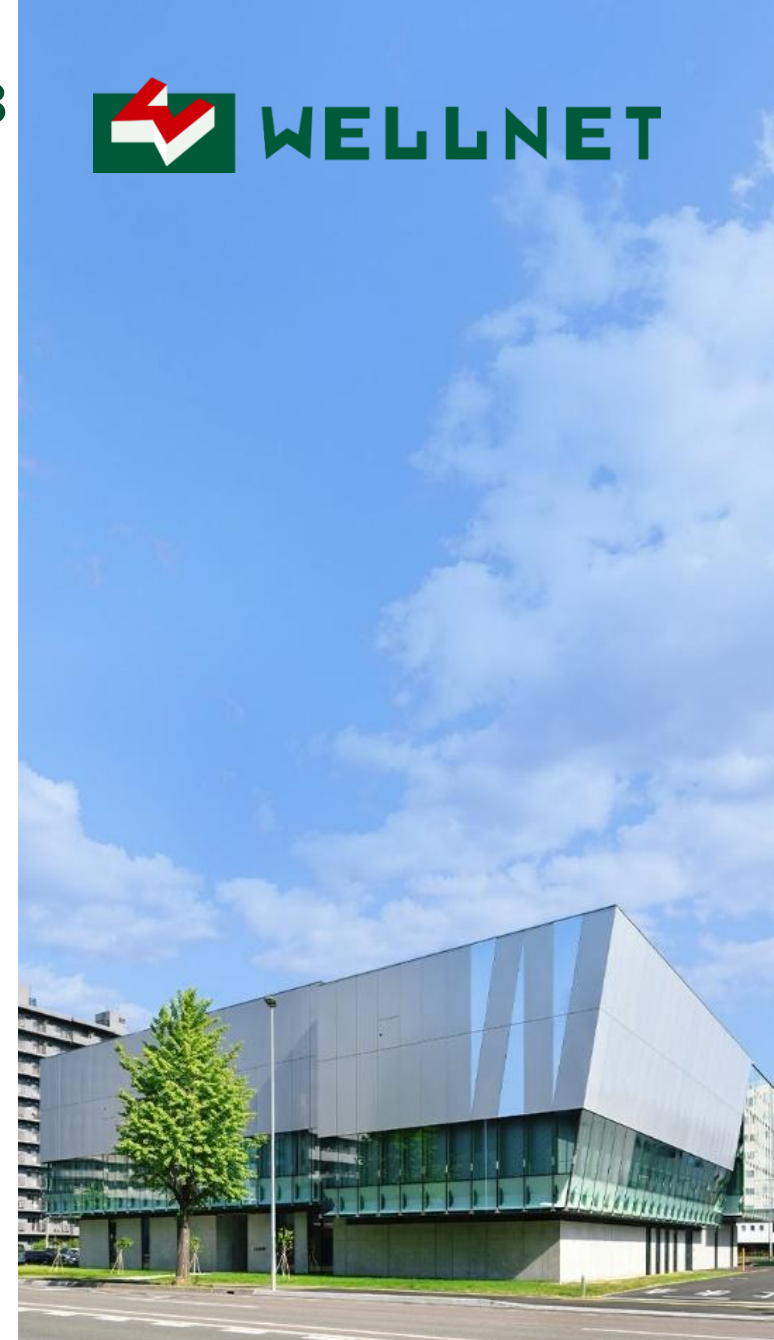
証券コード 2428



ウェルネット株式会社 2027年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年10月30日

代表取締役執行役員社長 宮澤一洋



目次

- 1 ウェルネットについて
- 2 2027年6月期第1四半期業績等
- 3 中期経営計画「Think Wild.」
- 4 成長戦略中核
- 5 ウェルネットの社会貢献

ウェルネットについて

1

**安全・安心・快適・便利を
最大効率で実現する。**

2

**社員に自身の可能性を試す
フィールドを提供する。**

創業

1983年

1996年新規事業開発会社として
社名変更・再スタート
(実質創業30年)

本店

札幌

営業拠点

札幌・東京・大阪・福岡

従業員

約170名

サービスの歴史

2000年 航空大手三社（JAL・ANA・JAS）導入
2001年 都市間高速バスチケットコンビニ発券
2002年 ケータイチケット（日本武道館13,000人コンサート）
2003年 飛行機搭乗用QRコード発行
2008年 Jリーグ・札幌ドーム電子チケット提供
2012年 「送金サービス」ネットde受け取り（SMBC共同開発）
2013年 「送金サービス」コンビニ現金受け取り開始
2016年 “バスもり！”開始（スマホ電子チケットサービス）
2017年 スマホ決済サービス“支払秘書”開始

2020年 MaaS事業開始(函館dohna！！、仙台MaaS、OkhoNavi・・・)
2021年 札幌本社完成、本店移転、ekaiin.com開始
2022年 スルッとKANSAI QR認証システム開発パートナーに選定
2023年 しまえーる（電子請求）リリース、西日本支店開設
2024年 スルッとQRttoサービス提供開始
2024年 日本通信と安全・安心・快適・便利な電子マネー社会実装に向けた協業開始
2025年 JR北海道、湘南モノレールでQR認証システム開始、ぐるっと北海道サービス開始
九州営業所開設
2026年 デジタルマネー基盤「OEM電子マネー」「地域マネー」の提供を開始

2027年6月期第 1 四半期業績等

大口事業先の取扱高減少及び人件費や一時的な案件による販管費の増加を主因として減収減益

(単位：百万円)

売上高		営業利益		経常利益		純利益	
2,370		266		295		224	
前年同期差 ▲ 216		前年同期差 ▲ 88		前年同期差 ▲ 73		前年同期差 ▲ 30	
FY27 2Q業績予想進捗率 48.4%		FY27 2Q業績予想進捗率 44.3%		FY27 2Q業績予想進捗率 45.5%		FY27 2Q業績予想進捗率 49.9%	
FY26 1Q実績	2,586	FY26 1Q実績	354	FY26 1Q実績	369	FY26 1Q実績	255
FY27 2Q業績予想	4,900	FY27 2Q業績予想	600	FY27 2Q業績予想	650	FY27 2Q業績予想	450

- 業績のポイント
- ① 売上高は大口事業者の取扱高減少、それ以外の取扱高の増加でカバーしきれず減収
 - ② 営業利益は人件費の増加に加え一時的な案件による販管費の増加等により減益
 - ③ 営業利益の減少を営業外・特別損益の好転でカバーしきれず経常利益・純利益も減益

カテゴリー	定義	用途
ビリング	払込取扱票付請求書など紙を使用する請求・収納代行サービス	通販・公共料金など
Eビリング	マルチペイメントサービス ペーパーレスの電子請求・電子決済	クレジットカード・コンビニ決済・ATM(ペイジー)・ネットバンク・電子マネー・スマホ決済
送 金	送金を代行するサービス	イベント中止時の返金や、交通費・謝礼支払等 に使用
SaaS (決済+α)	決済だけでなく、チケット販売や本人確認サービスなど付加価値をつけたサービス (交通系や電子マネーに係る受託案件・受託開発を含む) 戦略分野 アルタイルトリプルスタークラウド、電子マネー、ekaiin.com、しまえーる	<ul style="list-style-type: none"> ・アルタイルトリプルスタークラウド：乗車券・企画券等のチケットの予約・発券・精算等の機能をフルパッケージ ・電子マネー（支払秘書）：電子証明書を用了安全安心のスマホ決済 ・ekaiin.com：会員管理・会員への請求（定期的・都度）・集金がWeb上で行えるサービス
その他	BPOなど	

カテゴリー別アカウント数

- ビリング、Eビリング：部品提供先のアカウント統合等により前年同期差減少
- 送金、SaaS：新規事業者拡大を主因として増加

	FY23	FY24	FY25	FY26	FY26 1Q	今期実績 FY27 1Q	(単位：件) 前年 同期差
ビリング	397	388	381	227	361	227	△ 134
Eビリング	3,380	4,471	5,145	4,895	5,334	5,172	△ 162
送 金	223	281	376	419	402	438	36
SaaS（決済+α）	217	254	356	508	502	536	34
その他	9	15	30	26	31	30	△ 1
総 計	4,226	5,409	6,288	6,075	6,630	6,403	△ 227

※過去1年間に取引があるものを有効アカウントとして集計（OEMを含む）

カテゴリー別売上高

- Eビルング：大口事業者の取扱高減少により前年同期差減収
- 送金、SaaS：新規事業者拡大を主因として前年同期差増収

(単位：百万円)

	FY23	FY24	FY25	FY26	FY26 1Q	今期実績 FY27 1Q	前年 同期差
ビルング	1,177	1,219	1,119	1,096	258	247	△10
Eビルング	7,494	7,978	8,453	7,436	2,041	1,754	△ 286
送 金	419	447	570	615	145	177	31
SaaS (決済+α) (うち戦略分野)	297 (135)	355 (136)	510 (207)	748 (281)	132 (53)	167 (57)	34 (4)
その他	34	130	264	163	7	23	15
総 計	9,424	10,132	10,918	10,059	2,586	2,370	△ 216

部品提供・ポータルサイトの取扱高は前年同期差減収となるも、自社直接と交通系は着実に拡大

決済系

自社直接

当社が事業者へ直接、決済サービスを提供

部品提供

決済代行事業者に、当社の決済機能を提供

ポータルサイト

Amazon等のECプラットフォーム経由の決済

交通系

航空、鉄道、船、バス事業等

売上高	FY23	FY24	FY25	FY26	FY26 1Q	今期実績	(単位：百万円)
						FY27 1Q	前年 同期差
決済系	8,376	8,946	9,496	8,475	2,202	1,954	△ 248
自社直接	3,210	3,436	3,603	3,600	843	862	18
部品提供	1,544	2,336	3,092	2,476	739	555	△ 183
ポータルサイト	3,621	3,173	2,800	2,398	619	536	△ 83
交通系	1,047	1,185	1,422	1,584	384	416	32
総計	9,424	10,132	10,918	10,059	2,586	2,370	△ 216

損益概況



- 売上高は大口事業者の取扱高の減少をそれ以外の取扱高の増加でカバーしきれず前年同期差 △216百万円と減収
- 売上総利益は売上高の減少を売上原価の減少でカバーしきれず前年同期差 △21百万円の減益となるも、売上総利益率は1.2pt上昇
- 営業利益は売上総利益の減少に加え人件費の増加及び一時的な案件による販管費の増加により前年同期差 △88百万円の減益

	FY23	FY24	FY25	FY26	FY26 1Q	今期実績 FY27 1Q	(単位：百万円) 前年 同期差
売上高	9,424	10,132	10,918	10,059	2,586	2,370	△216
売上原価	7,572	7,992	8,399	7,562	1,976	1,782	△194
労務費・外注費	652	773	904	880	205	232	27
経費	6,960	7,266	7,733	6,871	1,831	1,616	△215
うち収納代行手数料	6,081	6,387	6,703	5,869	1,611	1,377	△233
うち減価償却費	336	270	278	253	69	63	△5
売上総利益	1,851	2,140	2,518	2,497	610	588	△21
売上総利益率	19.6%	21.1%	23.1%	24.8%	23.6%	24.8%	1.2%
販売費及び一般管理費	912	917	1,016	1,086	255	322	67
うち給料手当及び賞与	256	273	343	398	89	108	18
うち減価償却費	68	44	40	35	9	8	0
うち研究開発費	19	22	56	27	0	0	0
営業利益	939	1,222	1,502	1,411	354	266	△88
営業利益率	10.0%	12.1%	13.8%	14.0%	13.7%	11.2%	△2.5%

・ 売上総利益率 = 売上総利益 / 売上高

・ 営業利益率 = 営業利益 / 売上高

研究開発費・設備投資・減価償却費および販管費の推移

FY27 1Q 主な内訳

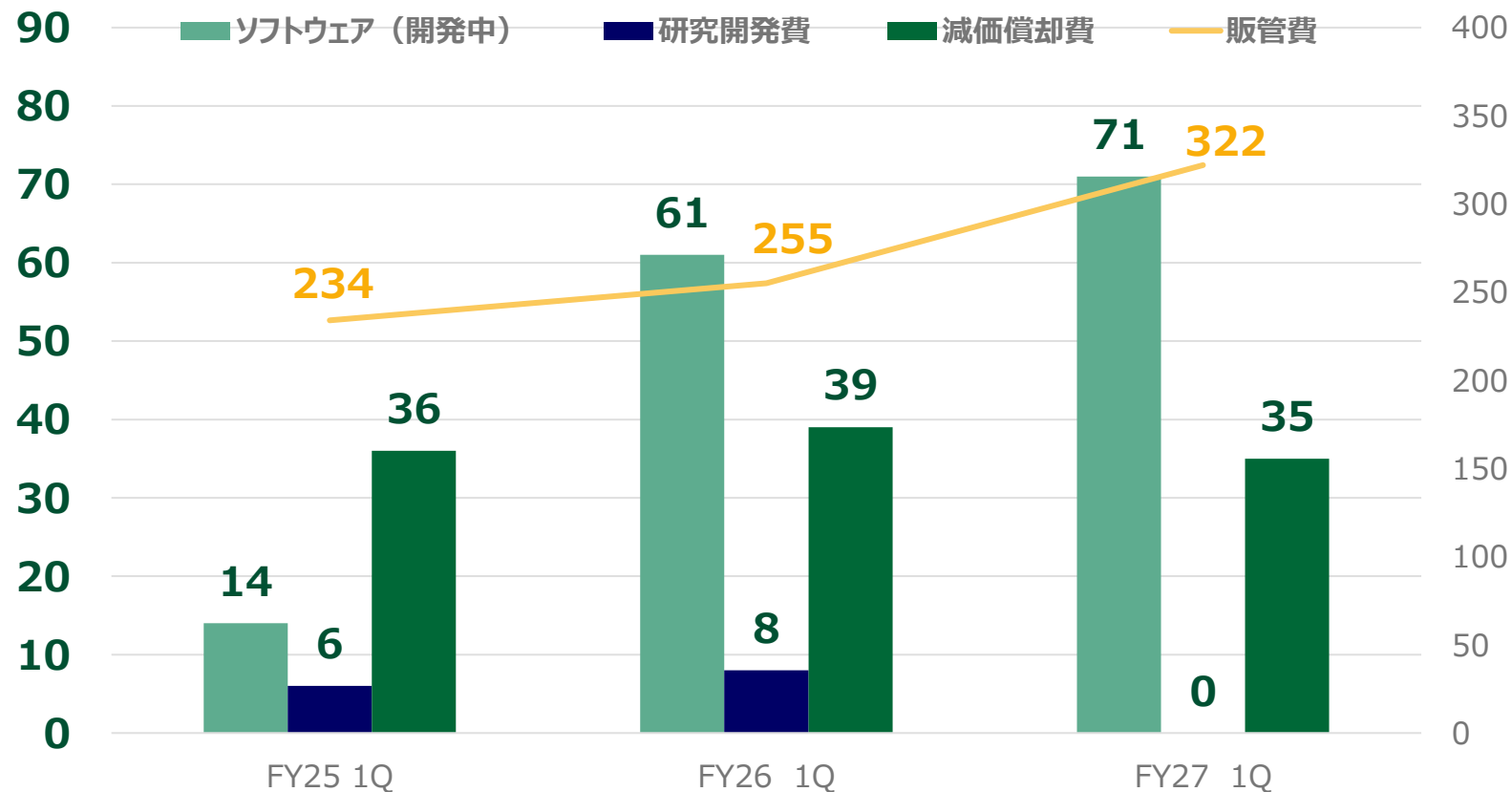
(単位：百万円)

ソフトウェア(開発中)

- ・アルタイル、北海道MaaSプロジェクト等に関連する開発 42
- ・電子マネーOEM化 追加開発 21

販管費の増加内訳

- ・給料手当及び賞与 22
- ・一時的な案件による費用 38

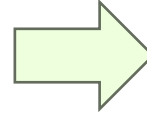


バランスシート概況

事業者および事業者の取引先に送金するためにお預かり

収納代行預り金(回収代行業務によるもの)

預り金(送金サービス業務等によるもの)



当社バランスシートからこれらの影響を除いた

「実質現預金」※¹「実質自己資本比率」※² は
下記の通りです

今期実績 (単位：億円)

	FY23末	FY24末	FY25末	FY26末	FY26 1Q	FY27 1Q	前年 同期差
流動資産	187	217	232	190	285	263	△21
うち現金及び預金	140	166	174	133	226	196	△30
固定資産 a	61	53	60	69	64	71	7
うちソフトウェア	4	3	3	5	4	5	1
総資産 b	248	271	293	259	349	335	△14
負債	170	187	204	167	263	243	△20
うち預り金 c	35	42	49	50	48	56	7
うち収納代行預り金 d	104	114	124	89	186	159	△27
うち長期借入金 e	17	16	15	14	14	13	△1
純資産 f	78	83	88	92	85	91	5
自己資本 g	77	82	87	91	84	90	5
実質現預金 ※ ¹ e+f-a	34	45	43	36	36	33	△2
自己資本比率 g/b	31.1%	30.5%	29.9%	35.4%	24.3%	27.1%	2.8%
実質自己資本比率 ※ ² g/ (b-c-d)	71.3%	72.2%	73.4%	76.3%	74.2%	75.8%	1.6%

中期経営計画「Think Wild.」

～新規サービスを北海道から生み出し、日本のDX化けん引企業に～

「Think Wild.」大胆な発想で挑戦！

～新規サービスを北海道から生み出し、日本のDX化けん引企業となる～

計画概要



現状提供サービス収益最大化

- ・直接販売先拡大による利益率向上
- ・既存事業者へ全収納種類徹底普及
- ・既存大口事業者のDX化伴走者の獲得



安全・安心・快適・便利な電子マネーの社会実装

- ・アルタイルに電子マネー実装
- ・電子マネーOEM普及拡大
- ・Wellnet汎用マネーの拡大



決済+αサービス推進

- ・BPOビジネス拡大
- ・パッケージ商材(ekaiin,しまえーる)普及拡大



生産性向上(管理会計、AI活用)

- ・経営に寄与する管理会計
- ・AI積極活用による生産性向上



地域/社会貢献

- ・北海道内高等専門学校支援⇒経済的理由による退学者0を継続
- ・ウィンタースポーツ(スピードスケート)の振興に貢献

既存事業を基盤に戦略分野を拡大し、2030年に経常利益30億円・純利益20億円を目指す

売上高

170億円

既存135 | 戦略35

経常利益

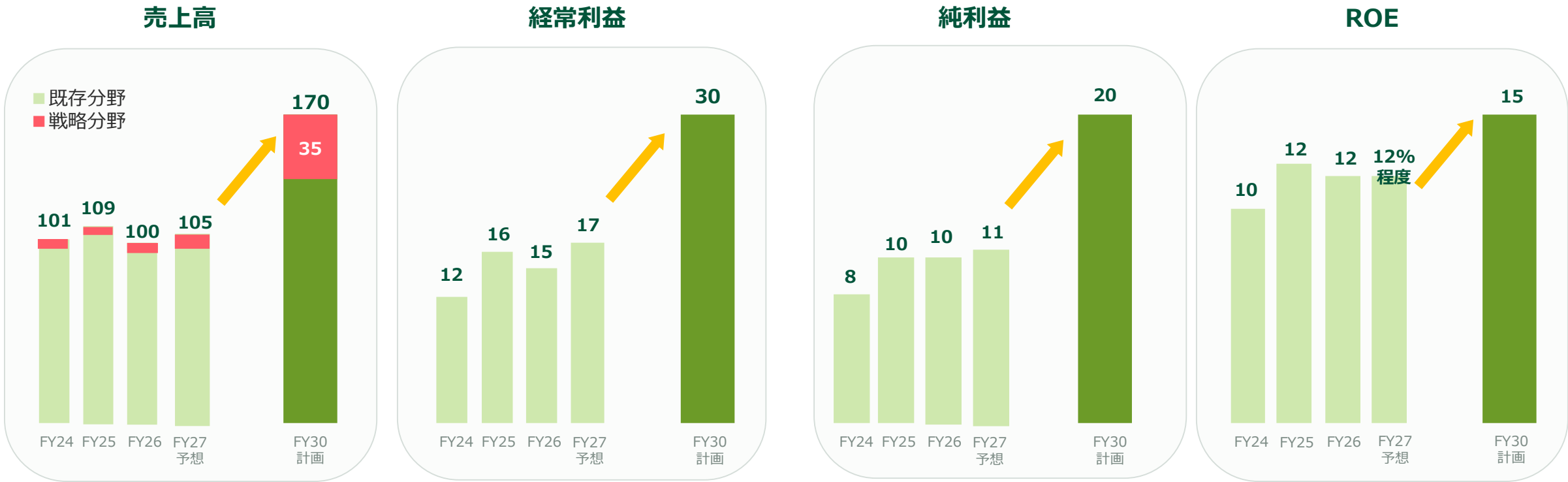
30億円

純利益

20億円

ROE

15%



※戦略分野＝アルタイルトリプルスタークラウド、電子マネー、ekaiin.com、しまえーる

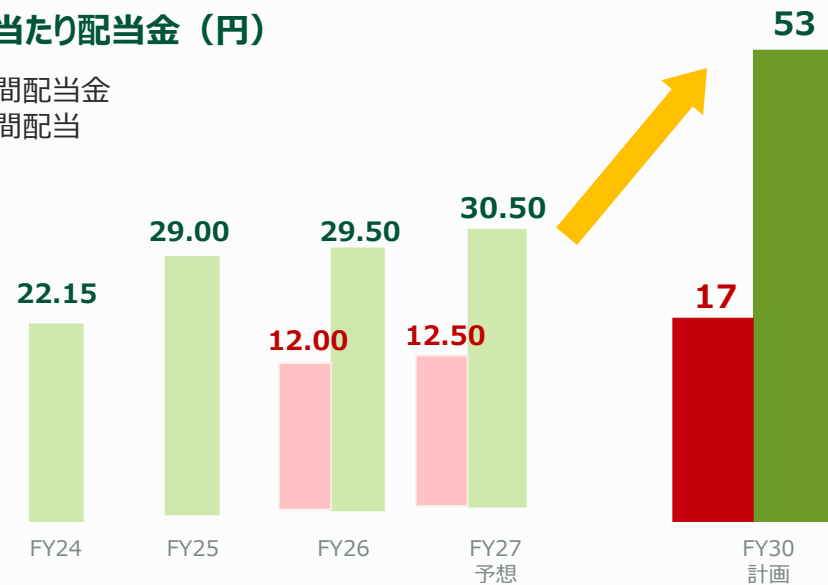
成長投資を優先しつつ、安定的な株主還元との両立を図る

株主還元

- 年間：DOE5%を下限
- 配当性向50%以上
- 中間：DOE2.5%を下限

1株当たり配当金（円）

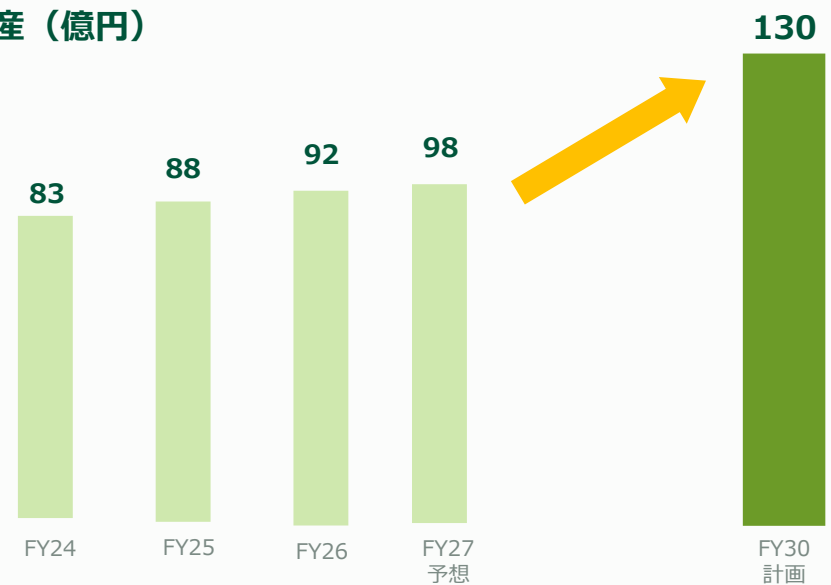
- 年間配当金
- 中間配当



資本配分

- 人材・内製化への投資
- システム・営業資金
- 資本業務提携・安全資産

純資産（億円）



**1. 交通事業者向けオールインワン
クラウドサービス**(アルタイルトリプルスタークラウド)

2. 電子マネー(支払秘書、OEM電子マネー、地域マネー)

3. 決済+α(ekaiin.com、しまえーる)

成長戦略① 交通事業者向けオールインワンクラウド

オールインワンの販売基幹系システム+ABT出改札管理システム

販売、決済、認証、清算を
クラウドで一体提供

ABT認証で
乗車～清算をシンプルに

唯一無二のMaaSクラウドサービス

センターシステム
(クラウドサービス)

インターネット

管理者
Web
サイト

利用者向け 端末

交通事業者様向け 端末

Webなので
スマホ/パソコン
両用可



スマホアプリ
(Web)

チケットを
購入



自動券売機



窓口用端末



改札用
タブレット

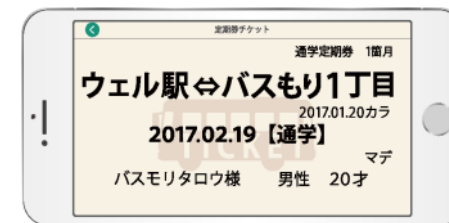
バスもり！スマホチケット(2016年8月リリース) 【幹事会社のみ記載】



- ・JRバス関東
- ・JRバス東北
- ・西日本JRバス
- ・JR四国バス
- ・京浜急行バス
- ・奈良交通
- ・中国バス
- ・下津井電鉄
- ・南海バス
- ・近鉄バス
- ・加越能バス
- ・京王電鉄バス
- ・東北急行バス
- ・防長交通
- ・とさでん交通
- ・西東京バス
- ・関東鉄道
- ・四国高速バス
- ・関東バス
- ・千曲バス
- ・日本中央バス
- ・高松エクスプレス
- ・羽後交通
- ・西武バス
- ・岩手県北自動車
- ・伊予鉄バス
- ・神姫バス
- ・アルピコ交通
- ・北海道中央バス
- ・名鉄バス
- ・関東自動車
- ・関越交通
- ・北陸鉄道
- ・大阪バス
- 他

導入路線数：約210路線

バスもり！スマホ定期(2017年3月リリース)



- ・JR北海道(鉄道)
- ・JR北海道バス
- ・JRバス関東
- ・東急バス
- ・京浜急行バス
- ・長野電鉄
- ・西日本鉄道
- 他

導入路線数：約380路線

バスもり！電子もぎり(2018年1月リリース)



- ・北海道中央バス(空港連絡バス)
- ・名鉄バス(回数券)
- ・JRバス関東(回数券)
- 他

導入路線数：約60路線

MONTA(2016年リリース/2026年リニューアル)



- ・京王バス
- ・東急バス
- ・九州急行バス
- ・山梨交通
- ・西東京バス
- ・伊予鉄バス
- ・アルピコ交通
- ・長電バス
- ・四国高速バス
- ・東京空港交通

導入社数：10社

ALTAIRチケットサービス(2020年12月リリース)



- ・JRバス関東(高速バスネット+)
- ・北海道中央バス(バスモ)
- ・京浜急行バス
- ・JALMaaS
- ・仙台MaaS
- ・函館MaaS(Dohna!!)
- ・スルツとKANSAI(スルツとQRtto)
- 他

商品数：約610商品

ぐるっと北海道

2026年8月

北海道MaaS「ぐるっと北海道」の公式キャラクターネーミング企画実施

～全国から900件超の応募～



ネットマーケティングチーム新設

電子座席表アプリ リニューアル

2026年4月

リニューアル前
バスもり！MONTA



リニューアル後

MONTA



より便利に・より安全に

- ハイウェイバスドットコムとの連携
 - ・リアルタイムで在庫状況を把握
 - ・飛び込み乗車のお客様に対応可能
- タブレット型⇒iPhone/iPadで利用可能に
- QR改札によるスムーズな改札・誤乗車防止
- 乗務員ごとにIDを付与することによりセキュリティ確保

株主優待乗車券・乗車証

2026年6月

京阪ホールディングス株式会社の株主優待制度において電子QR乗車券・乗車証の提供を開始

※スルッとKANSAI協議会が提供するデジタルチケットサービス「スルッとQRtto」の機能強化

「支払秘書」で培った電子マネー基盤と本人認証技術を、個人・企業・地域へ展開



認証の実装を終え、3商品の展開とAI化を経て、Trust Platformへ発展させます

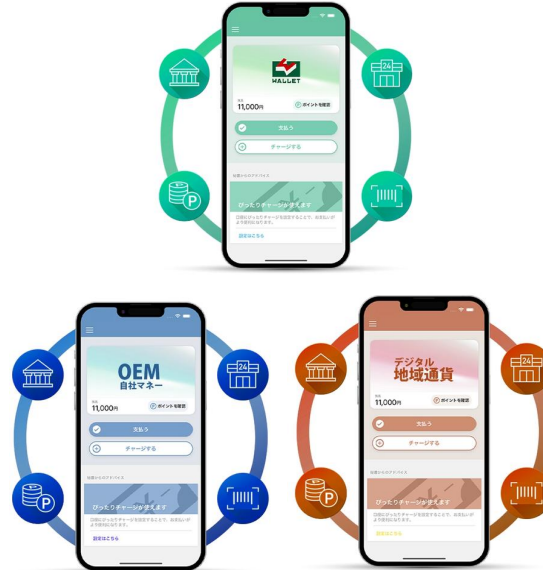
2025年

認証の実装



2026年

電子マネー
3商品完成



2027年～

電子マネー拡大
AI化

- 電子マネー拡大展開
- 接続銀行拡大
- 加盟店拡大
- AIエージェント機能強化

2030年

安全安心の
更なるご提供

- 安全安心をご提供するプラットフォーム
- ▶ プラットフォーム統合
- ▶ 業種を超えたサービス
- ▶ データ利活用
- ▶ 安全安心快適便利社会基盤実装

決済を起点に、会員管理・請求・集金など周辺業務まで一体化し、事業者の業務DXを支援



振込用紙・現金集金をオンライン化

利用例

スポーツチームや団体の会員管理・集金等

請求書のデジタル化

利用例

紙の請求書からの切り替え/請求書の保管

成長の方向性

決済 + 請求・集金・顧客管理等周辺業務まで支える

決済周辺業務のサービス化



顧客との接点拡大



収益基盤の拡大

▶北海道内工業高等専門学校生への支援

道内4高専（函館、苫小牧、釧路、旭川）在校生を対象に
2015年 総額2.2億円のウェルネット基金設立

累計支援実績

1129名に
1億2400万円支援

2025年度支援実績

104名に
1250万円支援



苫小牧工業
高等専門学校



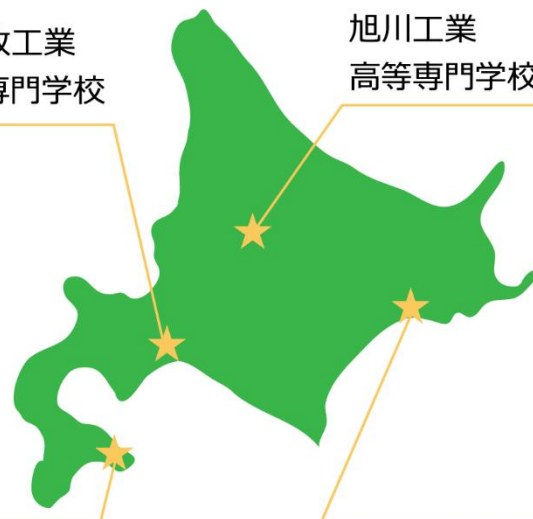
旭川工業
高等専門学校



函館工業
高等専門学校



釧路工業
高等専門学校



2022年に始めたスピードスケート山田将矢選手への支援をきっかけに、4名の社員アスリートが所属。
また、2026年4月1日にはウェルネットスケート部を発足し、さらなる支援強化とスピードスケートのレベルアップを目指す。

スケート部メンバー



選手兼コーチ
山田将矢 Yamada Masaya



選手
山田和哉 Yamada Kazuya



選手
山本悠乃 Yamamoto Yudai



選手
蟻戸一永 Arito Motonaga



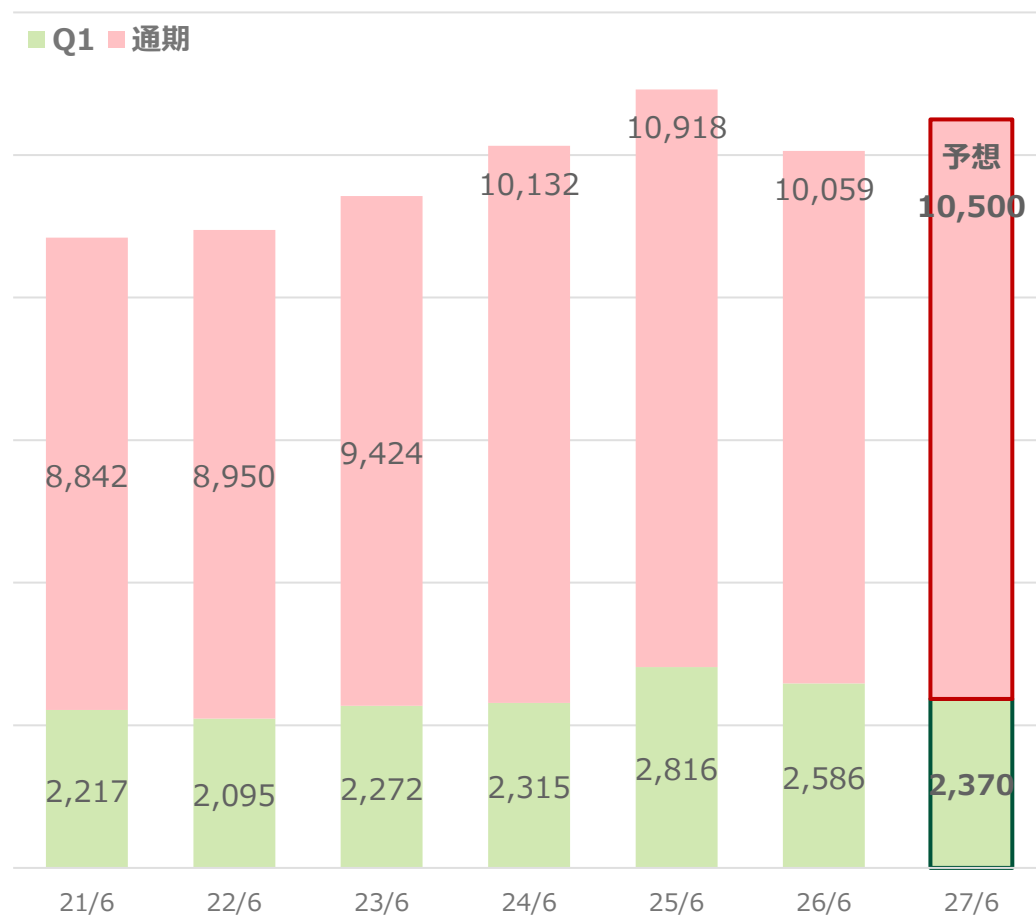
監督兼ゼネラルマネージャー
鈴木靖 Suzuki Yasushi

主な戦歴

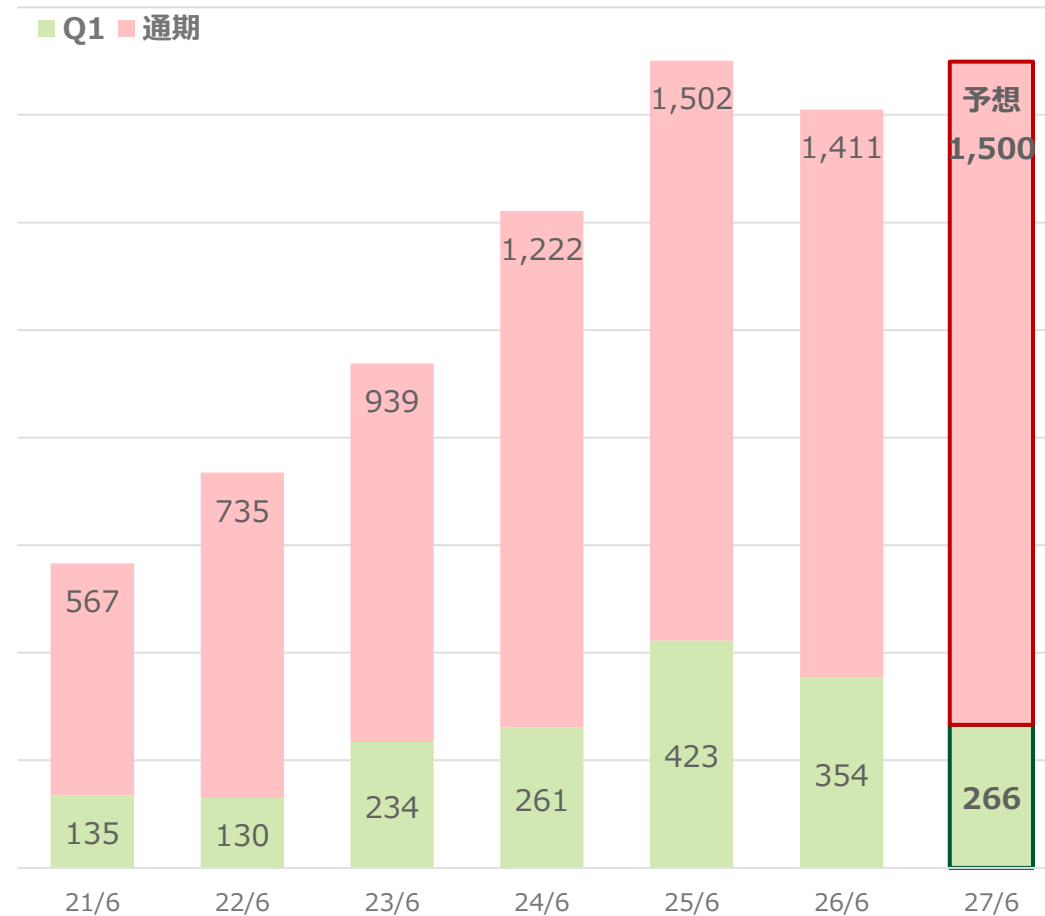
2023-2024	ワールドカップ(帯広) 山田将矢1000m優勝／1500m優勝 全日本スピードスケート選手権(距離別部門) 山田和哉1000m3位／1500m優勝
2024-2025	全日本スピードスケート選手権(距離別部門) 山田将矢 1000m優勝／1500m3位 山田和哉 1000m4位／1500m2位 蟻戸一永 1500m5位
2025-2026	全日本選抜スピードスケート競技会 山本悠乃 500m2位 全日本スピードスケート選手権大会 山田和哉 1000m優勝／1500m3位 蟻戸一永 1500m4位 ミラノ・コルティナオリンピック 山田和哉 1000m20位／1500m12位／チームパシュート8位 蟻戸一永 1500m26位／チームパシュート8位／マススタート13位
2026-2027	全日本スピードスケート選手権(距離別部門) 山田和哉 1000m優勝／1500m2位 蟻戸一永 1500m4位／5000m4位／10000m3位 山本悠乃 500m3位 <div> 選手3名、コーチ1名が 2026年ワールドカップ前半戦に選出されました </div>

Appendix

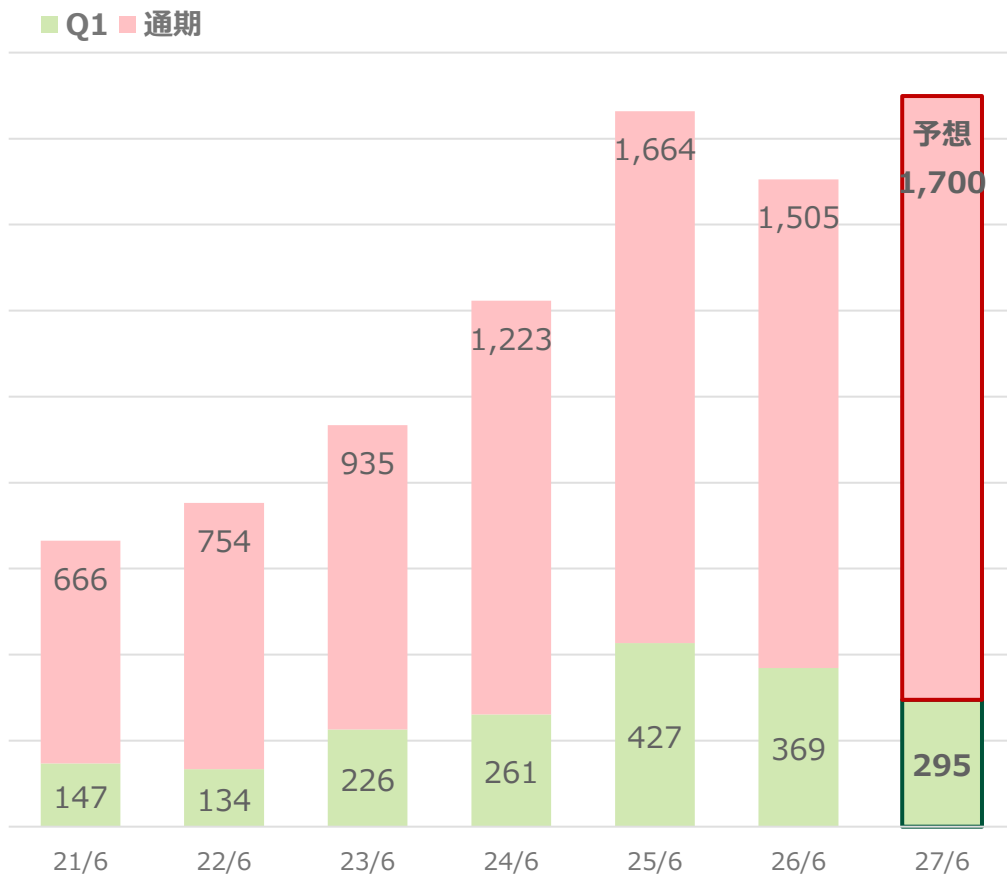
売上高 (百万円)



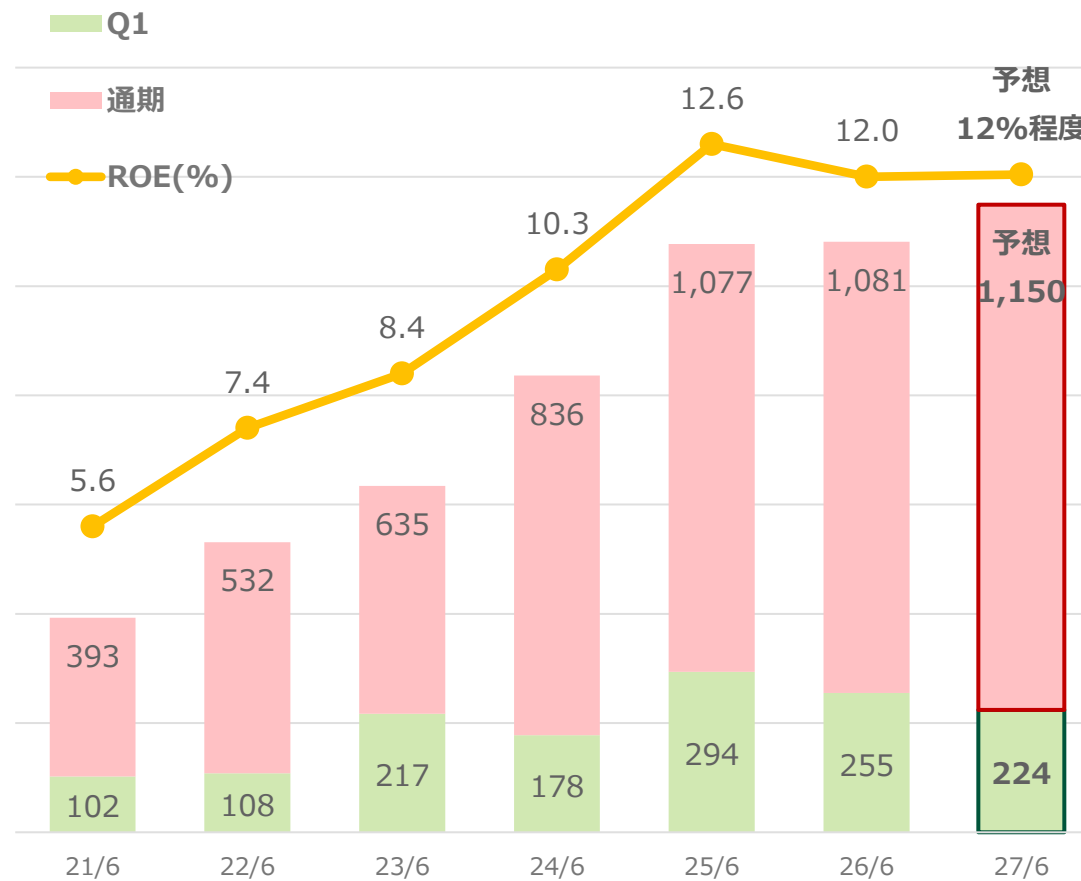
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



純利益 (百万円)



マルチペイメントサービス ～1ストップ決済サービス～
収納機関約1,000社

コンビニ						
銀行ATM	みずほ銀行	りそな銀行	関西みらい銀行	埼玉りそな銀行		
	MUFG 三菱UFJ銀行	千葉銀行	福岡銀行	広島銀行		
	SMBC 三井住友銀行	横浜銀行	TOWA 東和銀行	十八親和銀行		
	ゆうちょ銀行	熊本銀行	京葉銀行	77七十七銀行	南都銀行	
ネットバンク	pay-easy	docomo ドコモSMTBネット銀行	Rakuten 楽天銀行	au じぶん銀行	PayPay 銀行	
クレジットカード	VISA	MasterCard	JCB	AMERICAN EXPRESS	Diners Club INTERNATIONAL	Apple Pay
						Google Pay
電子マネー	WALLET	Edy	モバイル Suica	PayPay	au PAY	d払い
						R Pay

収納機関の一部を表記しています

Appendix : 主要取引先



※敬称略 一部は取引開始時のロゴマークです。

- 本資料は情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。
- このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。
- 本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性及び公正性を保証するものではなく、当社は掲載された情報またはデータの誤りまたは不正確に関しまして、一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 予告なしに内容が変更または廃止される場合があります。

2026年10月30日

本資料に関するお問い合わせ先
ウェルネット株式会社 本店社長室
(メールアドレス) well-ir@wellnet.co.jp
(電話番号) 011-350-7770

